

那智勝浦町で「土砂災害研究講演会」を開催しました

～紀伊山系砂防事務所～

奈良県・和歌山県・三重県に甚大な被害をもたらした平成23年9月の紀伊半島大水害から10年が経ちました。今もなお、全国各地で多くの土砂災害が発生しています。この災害を契機に進められている土砂災害に関する研究や取り組みについて、地域の皆さまにも知っていただけるよう那智勝浦町体育文化会館で「紀伊半島大水害から10年～あの日の災害を忘れない～」と題し、土砂災害研究講演会を開催しました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施しています。

概要

- <開催日> 令和4年1月18日(火) 13:00～15:10
- <場所> 那智勝浦町体育文化会館
(和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満441-8)
- <参加人数> 約140名
- <主催> 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所、和歌山県、那智勝浦町



プログラム概要

- 「紀伊半島大水害を振り返って」
堀 順一郎氏 (那智勝浦町)
- 「今、私たちにできること」
那智勝浦町立色川中学校生徒
- 「土砂災害防止のための最新技術」
竹林 洋史氏 (京都大学 防災研究所)
- 「大規模土砂災害対策技術センターでの10年間の研究成果」
木下 篤彦氏 (国土技術政策総合研究所)
- 「和歌山県土砂災害啓発センターの取り組み」
坂口 隆紀氏 (和歌山県土砂災害啓発センター)
- 「紀伊山系砂防事務所のこれまでの取り組み」
田村 友秀氏 (紀伊山系砂防事務所)

主催者のあいさつ



那智勝浦町立色川中学校生徒による発表



「今、私たちにできること」と題し、これまで取り組んできた防災学習について発表されました。地域の全戸にアンケートを取り、防災意識を把握したり、防災対策の提案や早期避難の呼びかけ等を行っている」と発表されました。

発表された生徒の感想

- これからも避難の大切さを広めていきたい。
- これからも取り組み内容を続けていきたい。
- これまでやってきた活動を多くの人に聞いてもらえて良かった。

最新技術や研究成果についての講演



竹林 洋史
京都大学 防災研究所
准教授



木下 篤彦
国土技術政策総合研究所
主任研究官

これまで取り組んできた事業の報告



坂口 隆紀
和歌山県土砂災害啓発センター
所長



田村 友秀
紀伊山系砂防事務所 副所長

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)

